

地域協議会だより

発行 板倉区地域協議会

編集 地域協議会だより編集委員会（板倉区総合事務所内）

上越市板倉区針722-1 TEL 0255-78-2141

今号の話題

- ◆板倉区の小学校の在り方に関する意見について、上越市から回答がありました
- ◆平成30年度地域活動支援事業の審査結果について
- ◆地域協議会の動き

上越市長からの回答書原本（写し）

上総教第 2846 号
平成 30 年 5 月 7 日

板倉区地域協議会
会長 平井 達夫 様

上越市長 村山 秀幸
(教育委員会 教育総務課)



板倉区の小学校の在り方に関する意見について（回答）

平成 30 年 3 月 28 日付けで提出のあった板倉区の小学校の在り方に関する意見書について、下記のとおり回答します。

記

板倉区地域協議会におかれましては、区内における小学校の在り方について、平成 26 年度から 4 年間に渡りご審議いただくとともに地域住民の皆様のご意向の取りまとめに尽力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

学校の適正配置につきましては、教育委員会で、平成 22 年 3 月に上越市学校適正配置審議委員会からの意見を基に、本市における適正な学校規模を「上越市立小中学校適正配置基準」として定め、小規模校や過大規模校の課題の解消に取り組んでまいりました。

板倉区内においては、現在、宮嶋小学校、山部小学校の 2 校が、複式学級が常態化している状況にあり、教育委員会としても両校の児童にとってより良い教育環境を整備する必要があると認識しております。

つきましては、板倉区内の望ましい学校の在り方について、教育委員会として保護者をはじめ地域の皆様のご意向を確認するとともに、意見書でいただいた、針小学校、宮嶋小学校、山部小学校の 3 校を早期に統合することについて、地域の皆様と一緒に検討を進めることといたします。

また、統合に向けた検討に当たりましては、今後の板倉区内における児童数の推移や小中連携の視点を踏まえ、将来的な板倉区内での学校統合の可能性について継続して見定めていくことが重要と認識しており、豊原小学校区の関係者の皆様からも協議に参画いただきたいと考えております。

なお、教育委員会では、学校適正配置基準の策定から 8 年が経過し、小中学校に入学する児童生徒数の減少がさらに進む状況にある中、今後は本市の現状に見合い、かつ将来を見据えた指針となるよう学校適正配置基準の見直しを図るとともに、複式学級の発生が見込まれる学校に関して、教育委員会が主体となり、保護者をはじめ地元町内会や地域協議会に当該校を取り巻く状況の説明を行っていく予定としています。



板倉区の小学校の在り方に関する意見について、上越市から回答がありました

「板倉区の小学校の在り方」については、地域協議会が平成24年度及び平成26年度に実施した地区別意見交換会の中から、板倉区全域に共通する課題として挙げられました。地域協議会で検討する中で、委員全体で審議すべき重要な課題であると認識し、平成26年度から継続して協議してまいりました。

板倉区の小学校の在り方についての意見をまとめるため、地域協議会勉強会で協議を重ね、校区別の意見交換会や報告会で地域の皆様に意見をお伺いしました。その結果、平成30年3月28日に開催した平成29年度第12回板倉区地域協議会で意見を確定し、同日付で上越市長に対し、「板倉区の小学校の在り方に関する意見書」を提出いたしました。

その後、平成30年5月7日付で裏面のとおり上越市長から回答がありました。今後は、教育委

=意見書全文=

平成30年3月28日

上越市長 村山 秀幸 様

板倉区地域協議会
会長 平井 達 夫

板倉区の小学校の在り方に関する意見について

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項に基づき、「板倉区の小学校の在り方」について自主的に審議した結果、下記のとおり提出いたします。

記

現在、板倉区内では針小学校、宮嶋小学校、山部小学校、豊原小学校の4校が配置されていますが、学校ごとの教育環境は大きく異なり、内2校については少子化により児童数が減少し、複式学級となっています。

当協議会では、平成24年及び平成26年に実施した地区別意見交換会で把握した課題のほか、地域からの板倉区内の小学校一校化の要望を受け、平成26年度から「小学校の在り方について」を自主的審議事項として審議することとしました。審議を進めるにあたり、広く地域の意見を聴く必要があると考え、平成27年6月及び8月に各校区別意見交換会により区民の意見収集を行い、12月には各校区でまとめた意見を提出していただきました。その後、小学校の存続を強く求める豊原校区については、平成28年7月に再度意見交換会を開催し、校区としての意見をまとめて提出していただきました。

このことから、平成29年3月にこれまでの経過をまとめ、上越市教育委員会に対し、「学校の再配置は住民の合意が不可欠であり、板倉区内の小学校の一本化は時期尚早」として報告しました。

その後も当協議会として、板倉区内に複式学級の小学校があることから、子ども達にとって望ましい教育環境について引き続き検討してまいりました。平成29年11月には、各小学校区に対し「針小学校、宮嶋小学校、山部小学校の3校を統合し、豊原小学校は現状のままとする」という当協議会の検討結果を説明し、各校区の意見を求めたところ、平成30年1月末までに全小学校区から地域の総意として賛同する内容の報告がありました。

つきましては、板倉区内の子ども達がより良い教育環境で学べるよう、豊原小学校は現状のままとし、針小学校、宮嶋小学校、山部小学校の3校を早期に統合するよう望みます。

員会が主体となり小学校の統合に向けて、地域の皆様への説明等を行う予定です。
これまで町内会長をはじめとする

地域の皆様から、幾度となく意見のとりまとめ等にご協力いただいたおかげで意見書を提出することができました。ご協力いただきました皆様

に改めて感謝申し上げます。

小学校の在り方に関する意見書(案)報告会



平成29年度地域活動支援事業活動報告会



平成29年度地域活動支援事業活動報告会及び板倉区の小学校の在り方に関する意見書(案)報告会を開催しました

3月22日(木)に、板倉区内の皆様から地域活動支援事業を知っていただき、活用していただけるよう、「地域活動支援事業活動報告会」を開催し、平成29年度地域活動支援事業の実施団体や町内会長など34名から出席をしていただきました。

活動団体による平成29年度に実施した事業内容の発表や平成30年度の採択方針等について説明を行い、地域活動支援事業の活用を周知しました。

平成29年度地域活動支援事業活動報告会の終了後、「板倉区の小学校の在り方に関する意見書(案)報告会」を開催し、町内会長や小学校の保護者など32名から出席をしていただきました。

「板倉区の小学校の在り方」について、これまで地域協議会の自主的審議事項として協議してきた経過や、地域からの意見を参考にまとめた意見書(案)を地域の皆さんに報告しました。

地域活動支援事業のヒアリング



地域活動支援事業の現地確認



平成30年度地域活動支援事業の現地確認及びヒアリングを実施しました

5月22日(火)に、平成30年度に提案があつた地域活動支援事業の審査の参考とするため、現場確認及びヒアリングを実施しました。6団体7か所の現場を確認し、第2回地域協議会において、事業の提案があつた全13団体から事業の概要を説明していただき、事業内容について質疑応答を行いました。

その後、5月30日(水)の第3回地域協議会で、採択すべき事業の審査を行いました。平成30年度の提案及び審査結果は裏面のとおりです。

なお、審査の結果、残額が生じたことから、地域活動支援事業の追加募集を行います。募集金額は17万3千円で、募集期間は6月15日から7月6日までとなります。詳細は、別紙「募集要項」をご覧ください。

**平成30年度の地域協議会日より
編集委員をお知らせします。**

編集委員長・・・島田 信繁
編集委員・・・上野 きみえ

北折 佳司
西田 節夫

平成30年度地域活動支援事業の審査結果について

(単位:千円)

事業名	団体名	補助希望額 (事業費)	採択額	事業内容
県道上越飯山線改良促進に向けた光ヶ原高原の活用支援事業	光ヶ原夏まつり実行委員会	759 (760)	759	近年、光ヶ原高原の集客が減少傾向にある中、県道改良促進の一端を担うため夏まつりを実施し、光ヶ原の賑わいを創出する。
「ゑしんの里いたくら歴史散歩」改訂版作成および地元の歴史・伝承普及活動事業	板倉郷土史愛好会	668 (669)	668	「ゑしんの里歴史散歩」を読みやすく、見やすいものに改訂する。また、地元小中学校及び高校で、郷土の歴史・文化・先人の遺した遺産を座学に加え実際に現地で学んでもらう。
絆の森づくり事業(地すべり災害跡地復興事業)	国川自治区	665 (666)	665	地すべり災害跡地の再生に向け、樹木などを植栽する。植栽活動は幅広くボランティアを募り、世代や地域を越えた交流と絆を深める。
みよしの里美化事業	みどりやすらぎグループ	1,000 (1,023)	1,000	観光地として確立することを目指し、ゑしんの里やすらぎ荘周辺の河川の土手に芝桜を、休耕田に菜の花を植栽する。
～恋する高原～板倉区光ヶ原高原にぎわい創出事業	板倉区光ヶ原高原にぎわい創出実行委員会	540 (602)	540	市外からの誘客及び板倉区内の世代間交流を促すことを目的とし、住民参加型で実施する婚活事業を実施する。
玄藤寺池あやめの里創出事業	あやめを愛する会	229 (230)	229	玄藤寺池あやめの里の整備を行い、あやめ祭りやサツマイモの収穫祭を行う。
地域に残る伝説の紙芝居作成と情報保存事業	寺野玉手箱グループ	258 (259)	258	地域住民が世代を超えて協力し、地域の昔話や伝説、郷土の偉人についての紙芝居を作成する。
箕冠城址公園観光・美化事業	山部地区連絡協議会	212 (213)	202	箕冠城址公園をPRするポスター及びチラシの作成・配布により、公園の知名度の向上を図るとともに、訪問客とリピート客の増加を図るため、公園内にみつばつつじを植栽する。
増村朴斎先生生誕満150年記念遺墨展並びに恩師・詩友遺墨お宝展事業	特別展実行委員会	555 (556)	555	増村朴斎先生の遺徳を偲ぶとともに先生の交遊の広さを多くの方から知ってもらうため、先生や恩師・誌友の作品を鑑賞する「お宝展」を開催する。
栗沢桜の里づくり事業	栗沢桜の里をつくる会	1,000 (1,028)	930	栗沢地内のくびき野パノラマ街道に臨む地に、桜を中心にした癒しの里を造り、地域住民はもとより、来訪者と交流する場にする。
寺野地区の魅力発信のための「積雪世界」周知事業	寺野地区活性化推進委員会	421 (422)	421	寺野地区柄山集落が持つ「人が暮らす土地における積雪量世界」の記録を周知し、後世に伝えるため、標柱と看板の整備を行うとともに、周知活動を行う。
板倉ネクストシアター事業	くびきの演劇人連盟	211 (212)	—	演劇公演による地域の文化振興、まちづくりを推進するため、演劇祭を開催する。
市民参加による演劇公演事業	寺野の自然と暮らそうサポートセンター	422 (593)	—	演劇の舞台としての農村・里山の魅力を発信するため、演劇の舞台づくりから公演まで行うワークショップを開催する。
合計		6,940 (7,233)	6,227	※板倉区配分額6,400千円

※地域協議会委員の採点による得点が上位の事業から今年度の板倉区配分額640万円の範囲で採択すべき事業を選定し、その際に事業費の内訳を精査して適正な助成額を決定しました。(上記の表は得点順に並んでいます。)

※板倉ネクストシアター事業及び市民参加による演劇公演事業については、地域協議会委員による採点の結果、基準に達しなかったため、「採択すべきでない事業」となりました。

《地域協議会の動き》

◇平成29年度

▼3月22日 平成29年度地域活動支援事業活動報告会、板倉区の小学校の在り方に関する意見書(案)報告会

▼3月28日 第12回地域協議会(板倉区の小学校の在り方に関する意見書について)

▼3月28日 「板倉区の小学校の在り方に関する意見書」を上越市長へ提出

◇平成30年度

▼4月20日 第1回地域協議会(平成30年度地域活動支援事業についてほか)

▼5月9日 「板倉区の小学校の在り方に関する意見書」について(回答)を受理

▼5月10日 第1回地域協議会 勉強会(地域活動支援事業の審査方法について)

▼5月22日 第2回地域協議会 勉強会(地域活動支援事業の現地確認について)

▼5月22日 第2回地域協議会(板倉区の小学校の在り方に関する意見書の回答について、地域活動支援事業のヒアリングほか)

▼5月30日 第3回地域協議会(地域活動支援事業の審査ほか)